

友<sup>とも</sup>来<sup>き</sup>たるもつとも暑<sup>あつ</sup>き夕<sup>ゆう</sup>べかな

永<sup>なが</sup>田<sup>た</sup>耕<sup>こう</sup>衣<sup>い</sup>

# 暑し

初期句集『真風』（昭和四四）所収。暑き夕べ、友が来る。友が来たことによつて、「もつとも暑き夕べ」となつたとも言える。本音で語りあえる親友でなければ、こんなとき来はしまい。二人の青年が纏っているのは白緋だろうか。耕衣は後年、「出会の絶景」を説くが、その原点がある。この人間臭い、魂と魂との邂逅は、人生最高の喜びのひとつである。【暑し・夏】

澤 6 月号 目次

澤俳句鑑賞 253

西村麒麟…………… 18

石田秀子…………… 20

窓

俳書を読む

太田土男『草泊り』／江中真弓『六根』／仲村青彦『夏の

眸』／藤本美和子『冬泉』／草野早苗『ぼらん』

加納 燕…………… 22

詩文学芸書を読む

川本三郎『「細雪」とその時代』 根岸哲也…………… 24

総合誌俳句鑑賞

「俳句」四月号 柳元佑太…………… 26

俳句結社誌を読む

「青山」二〇二二年二月号 大木由美子…………… 28

澤通信句会のお知らせ…………… 4

小澤 實 坂 十五句…………… 8

高橋睦郎 季語練習帖 第一三八回…………… 10

潺湲集 小澤 實選…………… 12

換気 汕としこ

突つけども 吉田邦幸

把手百種 栗山節子

牛乳のふた 半田羽吟

元首銅像 野崎海芋

牛舌一塊 古川恵子

辣韭 川上弘美

イエナ洋書店 梶等太郎

牡丹の芽 鶴見澄子

忘れ物 生井敏夫

スリッパ 河辺柚里

東京 寺島 麦

山椒の芽 結城あき

蝸唇 瀬川耕月

震災忌 佐藤晃市

地震の夜 オオタケシゲヲ

川上弘美風 栗生

速報 第八回澤特別作品賞受賞者…………… 30

俳句を豊かにするもの

私が生まれるとき 佐波サバ……………31

通信句会の秀句 村越 敦……………32

潺湲集巻頭作家インタビュー 吉田邦幸……………34

澤集巻頭作家インタビュー 今朝……………35

追悼／明石はま子

明石はま子二十句……………36

覚悟の人 押野 裕……………37

春月の人 森永一正……………38

柔和な笑顔 矢野明日香……………39

同人代表句 内野永子／周藤迪之相……………40

同人一句鑑賞 大文字明成／石見光夫……………41

澤齋……………42

澤四十句 小澤 實選……………44

選後独言 生への確かな意志 小澤 實……………46

澤集 小澤 實選……………48

田中 槐／山岸樵鹿／峰尾麻紀子／相子智恵／千葉典子／  
吉村たまみ／持田育司／大室ゆらぎ／根岸哲也／山本肯三

／今朝／天野正子／菱田嘉春

新入会員……………82

消息／正誤表……………83

澤創刊二十周年記念基金応募者芳名／定例句会のご案内／

5月号発送報告……………84

澤俳句叢書一覧……………85

雑誌「澤」購読のご案内／購読料更新のお知らせ／

澤基金募集のお願い……………86

澤基金応募者芳名／投句のご案内……………87

澤句会・カルチャー一覧……………88

広告……………89 後記……………94

デザイン||玉井一平

澤  
令和3年6月1日発行  
澤 俳句会  
頒価 1,200円

表紙／小澤  
實著『秀句三五〇選友』より